

In brief

An overview of financial reporting developments

No. 2012-27
July 19, 2012

FASBが、金融資産に関して提案されている減損モデルの主要部分についてさらに議論を行う意向を公表

最新の動向

2012年7月18日、米国財務会計基準審議会 (FASB) と国際会計基準審議会 (IASB) (「両審議会」) は、金融商品プロジェクトを議論するための会議を開催しました。会議の締めくくりにFASBは、減損モデルのいくつかの主要部分について議論を継続するとともに、最近のアウトリーチ活動の結果を検討した後で、公開草案に進む意向を公表しました。公開草案は、現在のところ、2012年第4四半期に公表される予定です。

過去数カ月間にわたりFASBとIASBは、金融資産に関して提案されている減損モデルを継続的に改善してきました。概要としては、両審議会は、「3つのバケット(3区分)」アプローチにより金融資産の信用棄損を評価するモデルに合意しています。信用状況が徐々に悪化するにつれて、計上される引当金の水準は増加することとなります。「3つのバケット(3区分)」アプローチの詳細については、[In brief 2011-52](#) 「再挑戦—金融資産の減損モデルを改善する」を参照してください。

FASBスタッフは、提案されたモデルのさまざまな側面を議論するために、財務諸表の作成者、利用者、規制当局、および会計ファームを含む関係者とのアウトリーチ活動を行ってきました。スタッフは、このアウトリーチ活動の過程で、モデルの主要な側面の一部が依然として不明確であるというフィードバックを受け取りました。関係者は、追加的な適用ガイダンスの公表により疑問の多くは最も良く対処される可能性があるかと指摘しました。

次のステップは？

FASBスタッフは適用ガイダンスを策定しており、8月中にFASBに提出する意向です。FASBは、当適用ガイダンスを評価すること、そして関係者の懸念事項に確実に対処することが、公開草案に進む前にとるべき重要なステップであると考えています。

FASBの公表に対しIASBメンバーは、FASBの活動が現在までの当プロジェクトの進捗に影響を与える可能性があるかと、懸念を表明しました。



In brief is designed to provide a timely, high-level overview of significant financial reporting developments. It is issued by the National Professional Services Group of PwC. This publication is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors. To access additional content on financial reporting issues, register for CFOdirect Network (www.cfodirect.pwc.com), PwC's online resource for financial executives.

© 2012 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.